

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|------------|----|--------|-----------|
| ○事業所名 | 児童発達支援ふおるて | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 8年 1月 5日 | | ～ | 8年 1月 24日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 26 | (回答者数) | 25 |
| ○従業者評価実施期間 | 8年 1月 5日 | | ～ | 8年 1月 17日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8 | (回答者数) | 8 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 8年 2月 4日 | | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 送迎時に保護者様と顔を合わせる事ができるので、その都度家庭や園での様子をうかがうことができる。 | その日の様子を保護者様に毎回報告し、交代で教室終了前の30分程度参観していただき、最近の様子をお伝えし、また家庭での様子をうかがっている。 | 必要時、園訪問や家庭訪問等させていただきよりよい支援に結びつくことができるようにしたい。 |
| 2 | 午後は二部制になっており、基本的な療育教室とは別に「感覚運動あそび」や「絵画造形」「英語であそび」などの夕方メニューがありそれぞれの得意を活かしている。 | 季節に合わせた内容でまたその子に合わせたペースで楽しく活動できるように工夫している。 | 夕方メニューについても今後は保護者様の参観を取り入れていきたいと考えている。 |
| 3 | 手作りの軽食やおやつを提供し、食育も大事にしている。 | 偏食や食のこだわりのある子については、個別に目標を設定している。 周りの刺激を受けて少しずつ食べることに興味がわき、食に対する意識の改善を目指している。 子どもと一緒におやつを作る時間を取り入れている。 | 引き続き継続していきたい。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|-------------------------------|
| 1 | 午前に開催している親子療育の利用者が減少しており開催できない日がある。 | 子どもの数が減っていることに加え、働く母親が増え療育の必要性があっても通えない家庭が多いのではないかとと思われる。 | PR不足も否めないなので、関係機関等に連絡させていただく。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |